

新バーコード表示推進WTにおける 検討状況

厚生労働省

新バーコード表示推進WTにおける検討状況 (日薬連と卸連)

1. 主な検討事項

- 新バーコード表示を推進するための取組

2. 開催状況

平成24年度 1回(8月)

平成25年度 1回(5月)

平成26年度 1回(6月)

3. 平成25年度の取組結果

- メーカー側の取組として、可能なものから新バーコードの表示及び準備を行った。
 - ・必須表示項目の表示割合は、元梱包装単位の生物由来製品(約95%)を除き、どの種類も概ね100%。
 - ・任意表示項目の表示割合は、調剤包装単位、販売包装単位は横ばい、元梱包装単位は増加。
 - ・販売包装単位・元梱包装単位への任意表示項目の新バーコード表示については、「今後、表示予定」との回答企業が増加。
- 卸側の取組として、新バーコード対応リーダーへの入れ替えを進めた。
 - ・物流センターでは80.7%(前回65.5%)、支店・営業所では60.5%(前回52.4%)

4. 今後の取組

- 平成26年中における新バーコードの表示・準備状況及び受入・準備状況について確認の上、表示推進について検討。
- 今後も継続的に情報化進捗状況調査を実施し、WTにおいてその調査結果に基づく評価を実施。